# ソーダニッカグループ 統合報告書 2025・コンテンツ

10

企業理念体系	2

## トップメッセージ

「変革」への挑戦で事業間連携が強みに 顧客ニーズを捉えた成長投資で 収益力向上に手応え



## 価値創造プロセス



長期ビジョン・中期経営計画 12

開示セグメントと中計事業領域 14

基盤事業 ------15

化学品等のトレーディングを軸に 受託加工や物流機能など 付加価値提案を推進

執行役員化学品本部長 兼中期経営計画基盤事業統括責任者



### パッケージ・新素材事業

\_

食品等のパッケージ及び、プラス チック代替素材(脱プラ・省プラ) 等を軸に事業を展開

常務執行役員機能材本部長 兼 中期経営計画パッケージ・新素材事業統括責任者 大里 宗久



## 生活ソリューション事業

17

19

16

日用品・化粧品等の 製造受託に関する事業を 一貫対応

中計2年目レビュー

化学品・機能材副本部長 兼 生活産業営業部長 兼 中期経営計画生活ソリューション事業統括責任者 作田 和豊



人財戦略・財務戦略 18



事業概況	
化学品事業	21
機能材事業	22
その他事業	23



化学品事業





機能材事業

その他事業

コーポレート・ガバナンス	24
役員紹介	24
社外取締役メッセージ	29



サステナビリティ・マネジメント	30
環境	31
社会	34
11カ年財務データ・非財務データ	36
企業情報	38

#### 編集方針

ソーダニッカグループでは、事業活動や中長期的な企業価値向上への取り組みを、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまにご理解いただくことを目的に、統合報告書を発行しています。2025年版では、当社が掲げる長期ビジョンを実現するための成長戦略を中心に編集しました。また成長戦略の開示を一層充実させるとともに、サステナビリティとの連動を強化し関連情報の開示を進め、さらに企業価値向上を支えるガバナンス体制の開示を拡充することにより、透明性の高い情報発信に努めました。本レポートに掲載しきれない詳細な財務情報は当社WEBサイトにてご確認いただけます。今後も、統合報告書を情報発信と対話のための重要なツールとして進化させ、ステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションをさらに深めていきます。

#### 報告対象期間

2024年4月1日~ 2025年3月31日(2024年度)

※一部、2024年3月31日以前、2025年4月1日以降の取り組みについても報告しています。

#### 報告対象組織

ソーダニッカグループ

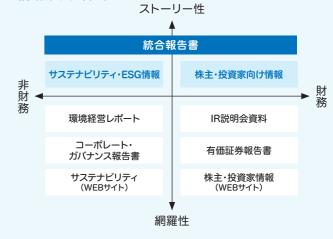
(ソーダニッカ株式会社及び国内外の関連会社8社)

※本レポート中の「グループ会社」とは、「連結子会社」を指します。

#### 参考ガイドライン

- GRI (Global Reporting Initiative) スタンダード
- IFRS (International Financial Reporting Standards) 「国際統合報告〈IR〉フレームワーク」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス2.0」

## 情報開示体系



## 将来の予測・予想・計画について

本レポートには、ソーダニッカの過去と現在の報告だけではなく、 将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これら予測・ 予想・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ない し判断であり、これらには不確実性が含まれています。したがって、 将来の事業活動の結果や将来に起こる事象が本レポートに記載し た予測・予想・計画とは異なったものとなるおそれがあります。

#### **WEBサイト**

• 環境経営レポート

https://www.sodanikka.co.jp/sustainability/environmental\_reports.html

コーポレート・ガバナンス報告書

https://www.sodanikka.co.jp/ir/library/others\_reports.html

サステナビリティ https://www.sodanikka.co.jp/sustainability/IR説明会資料 https://www.sodanikka.co.jp/ir/event/

• 有価証券報告書 https://www.sodanikka.co.jp/ir/library/financial\_reports.html

• 株主•投資家情報(IR) https://www.sodanikka.co.jp/ir/